

令和3年度第1回弘前市福祉有償運送運営協議会要旨

日 時 }
場 所 } 令和4年2月 書面形式にて開催

参加委員 小川 幸裕（会長）、下山 清司、溝江 義孝、鈴木 良一、天内 隆範

登録更新団体 特定非営利活動法人 銀河、特定非営利活動法人 光の岬福祉研究会、
特定非営利活動法人 ケアサポートひまわり

事務局 福祉部長 番場 邦夫、介護福祉課長 川田 哲也、介護福祉課長補佐 工藤 信康、
介護福祉課主幹兼介護事業係長 三上 礼興、介護事業係主事 工藤 海

関係課 障がい福祉課長 白取 靖夫、障がい福祉課長補佐 成田 亜弘、
障がい福祉課主幹兼障がい者医療・給付係長 鳴海 雅剛

○移動困難者の現況について

意見者	内 容
	意見なし。

○更新登録団体に関する協議について

意見者	内 容
小川会長	運行管理体制について（3事業所共通） ・各事業所で運行管理の方法が異なっているため統一の基準が必要と感じる。 ・「自家用有償旅客ガイドブック」における「運行管理、整備管理の体制」に準じた体制整備（責任者の選任など）がされているか。 ・運行前の点呼や自動車の点検についても、タクシー業界の点検方法などを参考に内容や項目（チェックシートなど）を統一する必要があると感じる。
事務局	・運行管理の方法等については、事務局にて、タクシー業界などの運行管理体制を調査・研究し、福祉有償運送を行っている事業所へ示していきたいと考えている。
小川会長	運送の対価について（特定非営利活動法人 ケアサポートひまわり） ・事業所として対価を10分450円としている理由は。 （150円増額したことで利用者に過度な負担となっていないか）
事務局	・事業所に聞き取りしたところ、当事業所の福祉有償運送の利用は1～2か月に1回ほどで利用回数が少ないことから、150円の増額は利用者の負担にならないと考えている。

裏面もあります。

意見者	内 容
下山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運送の対価は、定額制の場合、タクシー料金の概ね2分の1以内とはいえ、かなり低い水準であるため、再考していただきたい。 ・ 事故防止の危機管理と安心安全な運行のために、運行前の点呼や点検はしっかり取り組んでいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉有償運送実施団体の更新登録に必要な「地域公共交通会議等において協議が調ったことを証する書類」の「その他特記事項」の欄に、事業所への意見として下山委員の意見を添えることとしたい。

全ての参加委員の承認を得て、3団体の更新登録について可決された。